

G1天皇賞秋

<最終見解>

トニービン持ちが特に走りやすいレース。

ただし、今年は実績馬の 3、4、7 がいずれも該当。
ポイントはローテーションとマイル指向。

本命はドウデュース。

ポイントはマイル指向。

芝 1600m の重賞で連対した実績のあった馬は
過去 10 年で複勝率 41%と好走率高く、6 番人気以下でも
ステファノス、イスラボニータ、レインボーライン、アエロリットがこれに該当。

それ以外に 6 番人気以下で馬券になったのは
リアルスティール、キセキ、パンサラッサ。

リアルスティールは歴史的マイラーであるミエスクの一族。
キセキは祖母がマイル G1 の 2 着馬。

パンサラッサは父がマイル G1 を勝っているロードカナロア。

血統的には G1 マイラーの血を持っていました。

ドウデュースはマイル G1 勝ち馬。朝日杯は短縮での勝利。
イクイノックスとの比較ではマイル能力、短縮能力は上と予想します。

イクイノックスは、自己最高パフォーマンスは出さないとしても
3 着圏内はハズさない可能性が高いです。

ダノンブルーガは当レース実績馬。ローテ有利。

ガイアフォースは母父の影響受けている馬。
母父ヴァイスリージェント系は当レースも好相性。

短縮で出走したマイル戦では G1 級のパフォーマンスを出した実績があります